

1. 評価結果概要表

作成日：平成20年2月5日

【評価実施概要】

事業所番号	1493400079		
法人名	株式会社 ウィズネット		
事業所名	グループホームみんなの家・横浜上瀬谷		
所在地	〒246-0006 横浜市瀬谷区上瀬谷町56-4 (電話) 045-920-2031		
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部		
所在地	〒223-0058 横浜市港北区新吉田東5-76-35		
訪問調査日	平成20年1月19日	評価確定日	2月15日

【情報提供票より】(平成19年12月25日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年12月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	21 人	常勤 5 人, 非常勤 16 人, 常勤換算	12.4

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2 階建て	1 階 ~	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	64,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(12,000 円) 無	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	350 円	昼食 450 円
	夕食	450 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(12月25日現在)

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名
要介護3	6 名	要介護4	3 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82 歳	最低 59 歳	最高 94 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	横浜甞生病院、湘南泉病院、中川歯科診療所
---------	----------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- ・立地的には、相模鉄道瀬谷駅からバスで北へ10分の住宅地にあり、周囲の農地や近くの八幡神社への散歩など、自然を楽しめる閑静な環境にある。
- ・理念は「笑顔・気配り・安心」であり、職員全員が参加して作成した。散歩や地域行事への参加を通じて地域交流を深め、地域に密着した生活を目指している。外部研修、法人の職階別研修に積極的に参加し、実務の中で理念の実現に取り組んでいる。
- ・サービス体制は、「今出来ること」を優先し信頼関係を構築している。利用者の健康維持のため、医療機関による定期往診が行われている。「一言通信」で利用者・事業所の状況を家族に報告し、介護計画の見直しでは家族の意見・要望を事前に確認して必要事項を組み入れている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>今回は地域密着型の初評価なので前回評価はない。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>本社スタッフが評価の意義を説明し、職員による勉強会を行った後に全員が評価項目に記入し、ホーム長がまとめた。職員はこの全過程を通じて評価項目の意義を理解し、また多くの気づきがあり、日々のケア実践・改善に活かしている</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>区役所主催の運営推進会議説明会、地区の合同運営推進会議に出席した。平成20年2月に当施設も運営推進会議を開催する予定であり、今後の運営・サービスの質の向上に結びつけて行く計画である。メンバーとして自治会、民生委員、家族代表、地域ケアプラザ職員を予定している。今後は年2~3回の開催を計画している。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	<p>家族に毎月「一言通信」を郵送し、事業所の近況、利用者本人の状況、金銭出納状況を報告している。家族訪問時に意見・要望を聞き、申し送りノートに記入してカンファレンスで対応を検討している。玄関に「ご意見・ご提案ポスト」を設置し、また「一言通信」にご意見記入用紙を同封して意見・提案を出し易くする工夫をしている。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>自治会に入会し、夏祭りでの子供みこしのルートに当事業所を入れて貰ったり、一斉掃除・草取りへの参加など地域行事への積極的参加に努めている。事業所内の敬老会は自治会にも参加を呼びかけている。地域ボランティアによるハーモニカ合奏会を開催している。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・理念の「笑顔・気配り・安心」をフロア内に掲示している。 ・散歩・外出時は地域の人々に笑顔で挨拶し、お祭りや地域の共同清掃・草取りへの参加等、気配りをしている。 ・これらを通して利用者の顔を覚えてもらい、地域に密着した生活に努めている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・開所時に職員が全員参加して理念を作成した。 ・日々のケア、散歩や外出、地域の行事(お祭り・掃除等)への参加などを通して、理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・平成19年2月に自治会に入会した。 ・夏祭りや地域一斉清掃・草取りに参加し、子供みこしのルートに当事業所を入れてもらった。 ・事業所内の敬老会には自治会にも声をかけて参加を呼び掛けている。 ・地域ボランティアによるハーモニカ合奏会を開催した。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	・自己評価票記載に当たっては、本社スタッフが評価の必要性を説明し、全職員で勉強会を開いた。職員全員が評価項目に各自記入し、ホーム長がまとめた。 ・この過程で多くの気づきがあり、日々のケア実践・改善に活かしている。		

みんなの家・横浜上瀬谷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・区役所主催の運営推進会議説明会、合同運営推進会議(当地区の27グループホーム対象)に出席した。 ・H20年2月に当事業所単独の運営推進会議を予定している。3月の合同運営推進会議にも出席予定である。	○	H20年2月予定の運営推進会議(メンバーとして自治会、民生委員、家族代表、ケアプラザ職員を予定)を開催し、今後の事業所運営・利用者へのケアサービス向上に活かすことを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	・介護保険更新手続き、利用者に関する相談など、区役所担当との連携は出来ている。 ・区役所から同主催の講習会、その他の情報を得ている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	・家族に毎月「一言通信」を郵送し、当施設の近況、利用者本人の状況、金銭出納状況を報告している。 ・家族来訪時に利用者の状況を伝え、来訪が少ない家族には電話連絡をしている。 ・家族会を一周年記念のH19年12月に開催した。年2～3回の開催を予定している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・玄関に「ご意見・ご提案ポスト」を設置し、また「一言通信」郵送時にご意見記入用紙を同封している。 ・家族の来訪や電話連絡時に意見や要望を聞いている。 ・本社から家族にアンケートを出し集計中であるが、結果を参考にして更なるサービス向上を図る予定である。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・職員の離職を最小限に押さえるため、ホーム長は職員との面接機会を増やし、コミュニケーションを深める努力をしている。 ・職員が代わったときは、改めて挨拶などをすると余計な心配をかけるので、家族、利用者から聞かれた場合にのみ説明している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・法人の研修制度としては、職階別研修制度、スキルアップ委員会があるほか、職員の知りたいこと、行いたいことを聞き、外部研修にも積極的に参加させている。 ・受講した研修内容はスタッフ会議で報告する。(研修記録を確認した。)		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・区役所主催の合同運営推進会議を通じて他グループホームとの交流を行なうほか、法人内のグループホーム間の交換研修も行っている。	○	合同運営推進会議、地域包括支援センターなどを通じて同業者との相互交流、相互訪問などを推進することにより、事業所運営やケアサービスの一層の向上を期待します。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・ホーム長が利用者・家族に会いアセスメントを行っている。 ・利用者・家族の事業所見学の際、他利用者に接して雰囲気を知ってもらう。 ・これらを通じて利用者・家族の希望や支援に当たっての必要項目の把握に努め、利用者が徐々に馴染むように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・職員から利用者全員に声掛けをすることを大切にし、「今出来ること」を常に考え実行しているが、体調や表情を判断して、その日に出来ることをしてもらい無理強いはしていない。 ・料理、裁縫など、利用者から学ぶことが多く、相互に感謝の気持ちを持っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・利用者との日々の会話や表情・行動・機嫌などから、できる限り利用者の思いや意向を把握するように努めている。 ・利用者別の担当スタッフ間の「申し送りノート」に上記を記録して全職員が必ず閲覧し、ケアへの反映に努めている。重要と判断した事項は赤字で記入している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・利用者別の生活記録に本人の状態を詳細に記録すると共に、家族の意向についても来訪時や電話で把握し記録している。 ・介護計画は、上記記録をもとに、ホーム長・居室担当を含めて3～4人チームでカンファレンスを開き作成している。 ・医師のアドバイスも介護計画に反映している。		

みんなの家・横浜上瀬谷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・介護計画の見直しは3ヶ月ごとに行っている。 ・その他、介護計画はホーム長と関係職員のチームでミニカンファレンス的に随時検討し、そこには家族の意向も反映させている。 ・利用者の状態急変時はマニュアルに従って対応する。		
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	・利用者、家族の要望がある場合は通院の付き添い支援等、柔軟に対応している。 ・地域協力としては、地域の方から認知症への対応などの照会があれば協力医院を紹介している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・協力医療機関である横浜甞生病院から月2回、中川歯科診療所から週1回の往診を受けている。 ・急変時は湘南泉病院に対応を依頼する体制が出来ている。家族の希望があれば、かかりつけ医受診が可能である。 ・利用者、職員全員は年1回の定期健診を受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	・ターミナルケアは打ち出していないが個別に対応し、その都度、家族・医療機関の医師・本人が望む生活が可能となるよう、話し合いの場を持つ体制作りをしている。 ・重度化の場合は家族、医師と連携をとり、入院その他適切な対応をしている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	・プライバシーに関する管理マニュアルが整備され、利用者の個人情報施錠保管して外部に流出しないよう徹底している。 ・利用者に対する言葉かけ等の対応に不適切なことは見受けられなかった。(観察)		

みんなの家・横浜上瀬谷

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・利用者の生活には一日の基本の流れはあるが、入浴、レクリエーション外出、趣味、特技等、利用者の意思を尊重し、やる気を誘導しながら自由にのびのびと過ごせるように配慮している。 ・観察では自由でゆったりした雰囲気が感じ取られた。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・法人本社が食事のメニューの作成や材料の手配を行い、給食担当者が調理する仕組みになっている。 ・給食担当者が利用者の状態を把握し、おかゆ、きざみ、などで対応している。時には外食を入れる工夫もしている。 ・片付けは出来る人が自主的に行い、日常の自然な姿がそこにあった。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	・毎日午前も午後も入浴でき、個人ベースでは週に2～3回を目安にしている。ただし、希望すれば予定外入浴も可能である。 ・入るのを面倒がる利用者も多いので、本人が入る気になった時に入浴するようにしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	・入居時のアセスメントで得られた情報を基に、日常の会話の中から「今出来ること」を話し合っ、それを無理なく行い生き甲斐や安心に繋がるように支援している。 ・庭・ベランダでの園芸、畑での野菜づくり、自治会の共同清掃・草取り、手芸、片付け、洗濯物のたたみなど、利用者個々の自主的な意向に添って行われている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・できるだけ多くの利用者に声をかけて、天気が良ければ週2～3回散歩に出ている。(車椅子の人も一緒に) ・散歩の時に会う近隣の人とは笑顔で挨拶を心がけ地域との交流の場になっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	・居室は内側から施錠できる構造になっているが、現在施錠する利用者はいない。 ・1階、2階の階段の仕切りは昼は施錠なしで自由に入ることができる。 ・玄関は安全のため施錠している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	・利用者を含めた非難訓練を消防署の協力で年に2回行っており、防災対応組織図、防災チェック表があり防災意識を徹底している。 ・現在、地域の協力を得た防災対応はできていない。	○	運営推進会議を重ねる中で、地域の協力を得た防災対応の実現を期待します。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・栄養士の作成したメニューで栄養管理がなされ、専門の調理師によって美味しく食べられる工夫がなされている。 ・毎食、食事の摂取、水分摂取が記録されている。 ・通常食がとれない利用者には、それぞれに合ったおかゆ、きざみ食などの調理を行い、全員が楽しく食事がとれるように支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・居室、廊下、リビングとも自然の採光が活かされて明るく、空調の音も静かで、気になるような匂いもなく生活環境は快適だった。 ・正月の飾り付けがあり、その他入居者の手作りの飾り付けで季節感を演出していた。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ベッド、ダンスは施設の備品であるが、希望により寝具、テレビ、自分のダンスなどの持込は自由に行っている。 ・従って、利用者個人個人が好みのものを持ち込み、それぞれが居心地良い部屋作りをしている。(観察)		

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「笑顔・気配り・安心」を理念とし、散歩や外出の機会を増やしたり、お祭り・自治会の草むしりに参加し、地域との関わりを生活の中に持っています		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、職員全員で意見を出し合う場を作り決定した。申し送りノート、日々の介護業務に反映させています。		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	自治会行事への参加や理念を決めた際、利用者ご家族様への「一言通信」に記載しお知らせしています。		
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩中、田畑で作業されている方々とあいさつを交わし、気軽に遊びに来ていただける場所だということを伝えてます。		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会長さんに、ホームに来て頂きホーム内を案内させて頂き、理解を得た上で、自治会の会員にさせていただきました。9月には、子供みこしが来てくれました。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>6</p> <p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		○	<p>介護技術・認知症について等の勉強会を開催していききたいと思います。</p>
<p>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</p>			
<p>7</p> <p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>外部評価を受けるにあたり勉強会を開きました。自己評価する事で気づきがあったのでスタッフ会議で改善していきます。</p>		
<p>8</p> <p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>平成19年5月18日に、運営推進会議説明会に出席し、平成19年 11月2日にケアプラザにて地区別合同運営推進会議に出席しました。</p>	○	<p>平成20年2月事業所単独開催をします。平成20年3月14日 合同運営推進会議があります。</p>
<p>9</p> <p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>介護保険更新や生活保護担当者に相談等の為に、随時区役所に出向いています。</p>		
<p>10</p> <p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		○	<p>学ぶ機会が少なく、今後、内容についての勉強会をしていきたいと思っています。</p>
<p>11</p> <p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>平成19年7月26日、区役所にて「高齢者虐待防止研修」に参加し職員に対しても研修内容を伝え、異変があった場合、すぐに報告する様伝えました。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>		
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>		
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>		
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>		
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>		
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	アビアントの研修には勤務調整をして参加できるようにしています。	
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている		○ 今後、ケアプラザ等を通じて近隣や地域・同業者とのネットワーク作りをしていきたいと思えます。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	個人面談で各職員の悩み・不安を聞き、また職員同士仕事を分担し互いに助け合う環境を作っています。	
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎月行う勤務実績の状態を確認し、各職員個々目標と課題について話し合っています。	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居前に出来るだけ一度見学に来て頂けるようにし、ご本人様・ご家族様のお話を時間をかけ聞くようにしています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	不安や困っていることが起きた場合、すぐに連絡して頂けるようにし 又連絡があった場合、日程を調整し話し合っています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者様とご家族様が一番必要としている支援に対し、意向を聞き相談にのっています。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学の際、他利用者様と接して頂きご家族様にも場の雰囲気を感じて頂く。利用者様が今、何を必要としているかを把握し、ご家族様の意向も伺いながら利用していただいています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	コミュニケーションを大切にし、今できる事をやって頂き、職員もやって頂いた事に感謝の言葉を伝えます。又、日々の会話の中で学ぶことが多くあります。		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	手紙や電話などでご家族様に連絡を取り、互いに情報を共有できる関係を築いています。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ささいな事でもご家族様に連絡をしご利用者様の希望等を時にはご本人より直接ご家族様に話して頂き、一緒に考えています。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人・友人の方にも来て頂き話をしたり、手紙などが来た時返事をすぐには書ける環境を作っています。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	お互いの居室を行き来したり、時に職員が関わり合えるきっかけ作りをしています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご連絡などがあつたり又相談等あつた場合お話を伺っています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話の中から想いを引き出し、その時の表情や行動を見逃さずどうしたいのか、と気づき気持ちを把握するようにしている。その後、ご本人・ご家族様と話し合っています。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	実調時の聞き取りやご家族様からの情報を職員と共有しています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	生活記録・健康記録などで一日を把握し、行動・言動にも注意しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご家族様の面会時に意向を伺いご利用者様の変化に合わせて介護計画を作成しています。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日々の一人一人の状態・変化を話し合ったり、その日居合わせた職員でカンファレンスを行ったりし、計画を作成しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の利用者様の言葉や行動・表情等を記録に残し、職員同士が共有し介護計画に活かしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人様やご家族様の要望の変化に対応し、サービスを提供していきます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	平成19年10月12日消防訓練を行いました。又ボランティアさんによるハーモニカ演奏会を行い協力を頂いています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	介護保険外のヘルパーサービスの登録先を紹介しています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	今後 ケアプラザ等に出向き情報収集をし協力しあっていきたいと思っています。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様のご希望によりかかりつけ医に受診されている方もおります。又協力医療機関とかかりつけ医を受診されている方もおります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者様のペースに合わせた声がけを心がけています。個人ファイル・薬剤に関しては、鍵のかかる棚に保管しています。	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	ご本人が「今 どうしたいか」をゆっくり聞き、自己決定の場を作っています。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の今までの生活スタイルを大切に、何かしたい時は伝えやすい環境を作っています。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	地域美容師さんに月1度来て頂き、ご本人が希望を伝え散髪して頂いています。洋服などもご本人の選んだ物を着て頂いています。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	下ごしらえ・盛り付け等を職員と共に手伝って頂き、各テーブルには職員が座り一緒に食事を楽しんでいます。	
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコを吸う方・お酒を飲まれる方がいらっしゃいます。タバコを吸う方は職員が付き添いベランダで吸われています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握し、安心感を持って頂ける様な声がけをし 排泄介助を行っています。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者様の希望をできるだけ考慮し、入浴して頂ける様にしています。又入浴を拒む方に対しては、時間をかけゆっくり声がけを行っています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の生活リズムを大事にし、眠れない場合 安心できる声がけと環境を整えます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	役割として出来る事は無理のない様にやって頂き やって頂いた事に対し職員は感謝の気持ちを伝えてます。天気の良い日は、散歩等で気晴らしをして頂いています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お祭り等がある場合 利用者様にお財布をもって頂き 好きな物を買って頂く様にしています。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム中庭にベンチを置き、庭でお花を育てて頂いたり 水まきをしたり貸して頂いている畑へ 野菜の苗を植えに行ったりしています。		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族様に説明し協力を頂き 外泊・外出出来る様支援しています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様からあの電話は子機を使用し居室内で話していただきます。手紙は、出来るだけご自分で書けるよう支援しています。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会時は 自室に椅子を用意し お茶を飲んで頂きゆっくりと過ごして頂いています。		
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員に周知しています。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	リビングは開放しています。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜勤者は利用者様がすべて見える場所に座り見守りをしています。日勤者も職員同士連絡を取り合いながら 自然体で見守りが出来るようにしています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	夜勤帯に関してのみ 鍵のかかる場所に保管しています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	利用者様の状態に合わせ カンファレンス・申し送りをを行い再発防止につとめています。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	マニュアルを基に対応し 医師に連絡しています。	○	職員すべてに救急訓練を行って行きたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練をし 避難場所も掲示し自治会の方にも 協力・連携していくことを話しました。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご本人の状態やホームの様子など お電話だけではなくいらして頂いた時、見て頂き話し合っています。		
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	食事量の確認・着替え・入浴の際身体の様子を確認し 異変時は 主治医に確認し指示を頂き対応しています。		
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報をファイルし、職員が利用者様が 今どんな薬を飲んでいるか等を 把握出来る様にしています。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分量を把握し 適度な運動の声かけ等を行っています。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	歯科医・歯科衛生士の指導のもとに 毎食後口腔ケアの声かけをし支援しています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の摂取量は1600Calとし 食事形態も個々に対応しています。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルで対応しています。手洗い・うがいで予防しています。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	まな板・フキンは毎日消毒しています。1週間に一度、冷蔵庫を清掃管理しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	入り口には花を置き、玄関周りの掃除を利用者様と共におこなっています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには、手作りの日めくりカレンダーを作り 飾り付けも季節に合った物を飾り 気持ちよく過ごせる環境を作っています。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	TVの前にソファを置き 一人で観ている時間があったり 気の合う方々と共有できる空間を作っています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように
		<input type="radio"/>	②数日に1回程度
		<input type="radio"/>	③たまに
		<input type="radio"/>	④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている
		<input type="radio"/>	②少しずつ増えている
		<input type="radio"/>	③あまり増えていない
		<input type="radio"/>	④全くいない
98	職員は、活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	②職員の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③職員の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	②利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	②家族等の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	③家族等の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

横浜上瀬谷は平成19年12月1日で 一周年を迎えることができました。家族会・イベントを開催し 多くの方々にいらしゃって頂きました。また、地域のボランティアさんにもご協力いただいております。散歩などでは 近所の農家の方から 野菜を頂いたり 声をかけて頂いたりしています。一年がたち 少しずつですが 地域の方々との交流ができていていると思います。これからは今以上に地域と共に暮らして行きたいと思っています。また 職員も思いやりと気配りでご利用者様と一緒に生活していきたいと思いません。